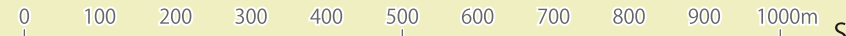
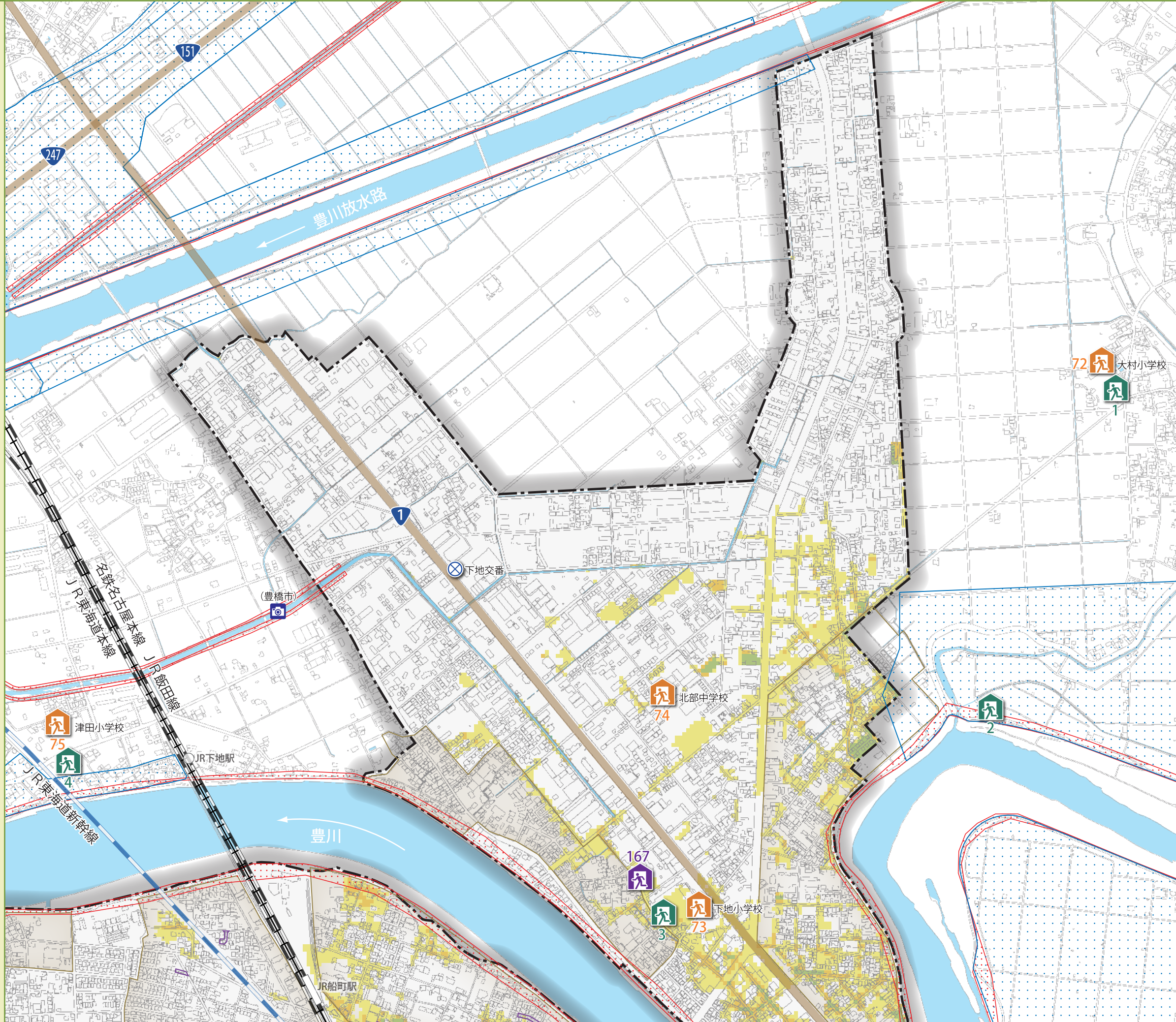


肉水ハザードマップ Map-2


$$= 1/10,000$$


避難所一覽

番号	施設名	番号	施設名
1	大村校区市民館（一）（洪）注※	73	下地小学校（二）（洪）注
2	北部生涯学習センター（一）（洪）注※	74	北部中学校（二）（洪）注
3	下地校区市民館（一）（洪）注	75	津田小学校（二）（洪）注※
4	津田校区市民館（一）注※	167	下地老人福祉センター（福）
72	大村小学校（二）（洪）注※		

(一)：第一指定避難所 (二)：第二指定避難所

(福) : 指定福祉避難所 (洪) : 洪水避難ビル

注：洪水時に浸水が発生する可能性があり ※：下水道区域外

《番号は地域防災計画 令和6年2月版（資料編：V 防災上必要な施設・設備等）の各避難所番号と同じです。》

凡 例



本マップ対象範囲



浸水実績
※近年における主要な浸水実績（H20.8.28、H26.10.6）の範囲を示す。なお、点線で示した箇所は、正確な範囲が不明な浸水箇所を示す。



第一指定避難所（生涯学習センター・校区市民館等）
・災害により被害を受け自分の家などを失い居住
できなくなったとき、又は被害のおそれのある
場合に避難する場所



第二指定避難所（学校などの公共施設等）
・第一指定避難所が収容能力を超えた場合などに開設



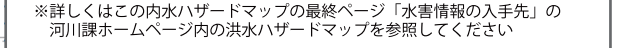
指定福祉避難所
・指定避難所での避難生活が困難な被災者がいる場合に開設



家屋倒壊等氾濫想定区域 ※
(早期立退き避難が必要な区域：氾濫流)



家屋倒壊等氾濫想定区域 ※
(早期立退き避難が必要な区域：河岸侵食)



家屋密集地域（火災注意箇所）



警察署・交番



河川ライブカメラ

注) 雨量、水位、河川ライブカメラについては、この内水ハザードマップの最終ページ「水害情報の入手先」から確認できます。

浸水深の目安



★浸水深とは
浸水した場合に想定される
地面から水面までの深さ
3.0m以上の区域

1階天井まで浸水する深さ

1.0~3.0m未満の区域



1.0m 0.5~1.0m未満の区域

0.3~0.5m未満の区域

(注) 豊橋市では、放流先河川の能力に応じて、おおむね 1 時間雨量 47.4mm の雨に対応出来るように市街地の下水道の整備を順次進めています。
ただし、この内水ハザードマップでは、中部地区において「想定し得る最大規模の降雨」である時間最大 147mm の雨（年超過確率 1/1,000 程度の雨）が降った時に生じる最大の浸水深を示しています。
また、表示されている浸水深は、周辺の道路地盤の平均値を基準としており、局地的な窪地の状況や宅地が盛土されている状況などは反映しておりません。